

NPO 法人ハートケア蒼い風障がい児サポートセンターちゃむは、長野県の令和 6 年度障害児支援分野の ICT 導入モデル事業補助金により、iPhone2 台を導入させていただきました。

補助金活用に至った経緯としましては、これまで事業所管理者が法人から携帯電話 1 台を貸与され、保護者、関係機関、職員等との連絡等を行ってきた中で、紙ベースに一度情報を記入しそれらを現場に反映するまでに手間と時間が掛かってしまうことが課題としてありました。

### iPhone を導入した効果

#### 1. 連絡・情報共有の円滑化

・職員間の迅速な連絡が可能になった・保護者との連絡がスムーズになり、急な変更にも対応しやすくなった。

#### 2. 業務効率化

・スマートフォンを適切に活用することで業務効率が上がり、子どもたちへの支援の質や安全面の向上ができるようになった。

#### 3. 保護者との連携強化

・保護者からの問い合わせに迅速に対応できるようになった。  
・送迎時間の変更や欠席連絡をリアルタイムで受け取れるようになった。

#### 4. 業務効率化で確保できた業務時間の新たな活用方法

・療育活動の事前準備や教材作成、活動場所の下見が導入前よりも細かにできるようになった。

・職員間のケース検討の時間を導入前よりも多く確保できるようになった。

・職員の研修時間を導入前よりも多く確保できるようになった。

以上

今後も業務効率化に役立てながら、利用児の皆様のサービスの質の向上に努めてまいります。

NPO 法人ハートケア蒼い風障がい児サポートセンターびーすは、長野県の令和 6 年度障害児支援分野の ICT 導入モデル事業補助金により、iPhone2 台を導入させていただきました。

補助金活用に至った経緯としましては、これまで事業所管理者が法人から携帯電話 1 台を貸与され、連絡事項や支援記録等は、紙ベースに一度情報を記入しそれらを現場に反映するまでに手間と時間が掛かってしまうことが課題としてありました。

#### iPhone を導入した効果

- ・職員間で LINE グループで情報を送信することで、複数のメールを送付する必要がなくなり、業務負担の軽減につながった
- ・利用児童に関わる時間が増え、よりよい活動を提供できるようになった。

以上

今後も業務効率化に役立てながら、利用児の皆様のサービスの質の向上に努めてまいります。